

鹿児島大学病院広報誌

# だより

6号  
2007.7

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部

## 〈目次〉

### 【診療科・部門紹介】

- 》 消化器外科
- 》 義歯補綴科
- 》 冠・ブリッジ科
- 》 乳腺・内分泌外科

- 医科外来ご案内図
- 医務課からのお知らせ
- 錦江湾魚ごよみ
- クラウン(道化師)による病棟訪問

霧島高原国民休養地(霧島市)

## 理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

## 基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

## 患者さんの権利と責務

### 〈患者さんの権利〉

1. 誰でも良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
3. 医学的な状態、診断、処置その他の個人情報保護されます。
4. 治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
5. 診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。

### 〈患者さんの責務〉

1. 医療従事者が最善かつ適切な診療を行うために、自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に伝える責務があります。
2. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするために、院内の医療の妨げとならないように協力する責務があります。

## 新たな治療戦略を展開する

消化器外科(Ⅰ)においては、消化器全領域に対する5グループ(食道、胃、大腸、肝、胆・膵)を基盤に、個々の患者さんに応じた適正な治療法選択を求めて、臨床所見に分子生物学的要素を加味しながら、新たな治療戦略を展開しています。手術は週3日(火木金)で10-12例を行い、年間約600例行っています。

上下部消化管においては、年間食道癌根治術約60例、胃癌50例、大腸癌80例が行われ、うち鏡視下手術の割合が約3割に達しつつあります。またリンパ節郭清の個別化・適正化をめざし、とくに早期癌症例を中心に術中センチネルリンパ節の同定と、PCRを用いたその微小転移の検索がリアルタイムで行われています。

肝胆膵症例では、腹腔鏡下肝切除術が高度先進医療施設として認定され、小肝癌・良性腫瘍を中心に行われ、また膵癌に関しては、化学放射線療法感受性に基づく個別化も臨床応用されています。

月-金の8時より症例検討会を行い、また定期的に問題症例についての病理カンファを行っています。さらに各臓器の内科・放射線科・病理医を加えた症例検討会も開催され、部門全員が一般外科医として、また消化器外科専門医として高いレベルの外科診療を達成できるように日々努めています。一方、内視鏡下手術の技能習得のために、学内のNPO-SEESによるミニブタを用いた実技トレーニングには、研修医のうちから積極的に参加を呼びかけており、着実に成果を伸ばしつつあります。

<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~surgery1/>

(当講座のホームページ)



症例検討会の様子

## ほ て つ 義歯補綴科

### 新しい材料を使った審美的な義歯

取り外し式の部分入れ歯の多くには、食事や会話時など口腔の機能時にこれがはずれないようにするためクラスプという装置が使われています。このクラスプは、通常コバルトクロム合金などの金属が使われており、前歯や小臼歯に用いられると、不自然な金属色のため審美的に好ましくありません。

鹿児島大学病院の義歯補綴科では、金属に変わるクラスプの材料として、ガラス繊維の束を入れ強度を増した高分子複合材料(FRC)に着目して、強度試験などの基礎研究を行い、臨床応用してきました。このFRC製のクラスプは、右写真のように歯と同じ色のため、自然に見え目立ちません。強度が必要な入れ歯の他の部分にも応用し、金属アレルギーの患者様にも使用しています。

入れ歯でお悩みの方は、受診してみてください(義歯補綴科 TEL 099-275-6601)。



金属製のクラスプを付けた義歯



高分子複合材料(FRC)製の  
クラスプを付けた義歯



## 医務課からのお知らせ



### 7対1看護体制を取得しました

本院は、平成19年6月1日より、特定機能病院入院基本料7対1（一般・結核）を取得しました。平均して、看護職員1人が患者さん7人を受け持つことで、これまで以上に入院患者さんが安心して過ごしていただける看護をめざしていきます。

### 緩和ケアチーム・褥瘡対策チーム室開設

患者さんやご家族の健康と生活の質の向上を支援するために、院内に緩和ケアチーム・褥瘡対策チーム室を開設しました。

日常のケアで困っておられることがあればどんなことでも結構ですので、遠慮なくご相談ください。

また、入院・外来を問わず、患者さんやご家族からのご相談もお受けしておりますので、お気軽に担当者までご連絡ください。

※連絡先：医科診療棟3階 透析室隣

TEL 099-275-5978



### 栄養相談室が移転しました

栄養相談室が、5月9日より医科診療棟3階透析室隣（緩和ケア・褥瘡対策室隣接）に移転いたしました。

健康の基本となる食生活について、疑問や悩みがございましたらお気軽にご相談ください。

※連絡先：医科診療棟3階 透析室隣

TEL 099-275-5111(内線5186)

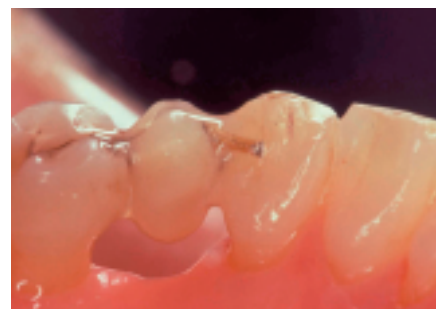


## 噛んだり発音する機能を回復させる 冠・ブリッジ科

虫歯や歯槽膿漏、外傷などにより、歯が傷んだり抜けてしまうことは歯科疾患のかなりの部分を占めます。冠・ブリッジ科では、クラウンやブリッジ、入れ歯などで治療を行い、噛んだり発音する機能を回復させます。また、歯の色や形に悩んでいる患者さんも少なくありません。このような場合には、歯をほとんど削ることなく、歯の色をしたセラミックスの薄い板を貼りつけて色や形を改善する治療も行います。

歯をあまり削らない治療はブリッジの場合にも可能です。当科が厚生労働省の高度先進治療の認定を受けて実施している接着ブリッジです。従来のブリッジの1/5程度しか歯を削らないため麻酔も必要とせず、2回の来院で治療を終わります。最近、インプラント(人工歯根)治療も増えてきました。これは歯が抜けた部分の顎に、チタンでできた人工の歯を植込む方法です。ブリッジと違って他の歯を削る必要がなく、入れ歯のような違和感もありません。

この他に、噛み合わせ不良などが原因になって顎の関節で音がしたり、口が開きにくくなる顎関節症の治療も、専門の担当医が行います。



## 手術のあとも美しく 乳腺・内分泌外科

乳腺・内分泌外科では、乳腺疾患や甲状腺疾患に対する外科治療を中心に診療を行っていますので、女性の患者さんが多くを占めます。

乳癌や甲状腺癌では、根治性と整容性(あとの美しさ)のいずれをも損なわない手術を常に心がけています。とくに乳癌に対しては、国内外の形成外科的手法を取り入れ、乳房温存(部分切除)手術では癌の占拠部位に応じた組織で欠損部分を補う形成術を加え、癌の広がりから乳房切除になった場合には、1年後をめどに自家広背筋皮片による二次的乳房再建術も行っています。

鹿児島県でも乳癌が増えています。早期の場合は手術だけで治りますが、多くは手術後長期間の化学療法やホルモン療法を必要とします。初診から術後まで日本乳癌学会認定の乳腺専門医が主治医をつとめ、月曜日の担当は女性の乳腺専門医です。生活・美容・精神面などについても、気楽に乳腺・内分泌外科外来(TEL 099-275-5803)までご相談下さい。



女性の乳腺専門医が診察します



## 「新種」の魚

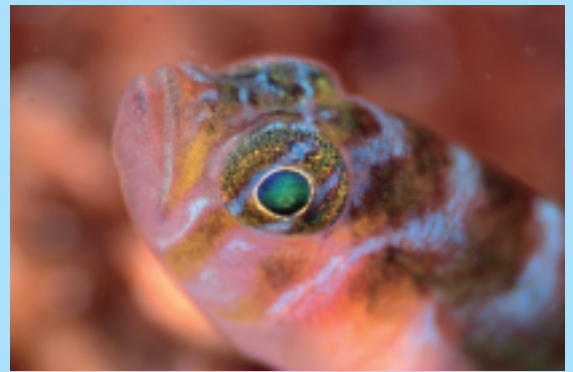
錦江湾で発見された標本を元に、今年4月、新種のはぜが学術雑誌に発表されました。この「新種のはぜ」が、オニベニハゼです。

桜島周辺の海中、切り立った溶岩の崖に彼らは暮らしています。その深さ45m以上。スキューバダイビングで行くことが出来る限界に近い水深です。あたりは夕闇のように薄暗く、自分の吐く泡の音だけが響く静かな世界です。

しばらくして辺りの暗さに眼が慣れてくると、オニベニハゼたちの姿が、見つかります。そして、ゆっくりゆっくりと水中ライトを近づけます。するとどうでしょう！ 灰色一色の殺風景な岩陰に、宝石のような輝きに満ちた彼らが浮かび上がりました。

夏、彼らは恋の季節を迎えます。きらびやかな色彩はますます鮮やかになり、異性を誘うのです。

「新種発見」とは言っても、私たちが生まれるずっと前から、この美しい魚たちは、この錦江湾で、人知れず、世代を繰り返してきたのでしょう。まだまだ未知なるものを、錦江湾はその懐に隠しているのかもしれない。



桜島で出会った、若い雌のオニベニハゼ。エメラルドグリーンの瞳でこちらを見つめました。(体長1.5cm・水深48m)

## TOPICS

### クラウン(道化師)による病棟訪問

鹿児島大学病院の小児病棟で、平成19年4月24日(火)に、クラウン(道化師)による病棟訪問が行われました。病棟訪問に来られたのは、全国各地の病院を訪問し、長期療養中の子どもを対象としたボランティア活動を行っている「NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会」の理事長の大棟さんです。クラウン(道化師)に扮した大棟さんが、マジック、パントマイム、バルーン、皿回しなどのパフォーマンスを披露し、入院中の子どもたちを元気づけてくださいました。



### 広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気的一般知識など知っておきたいことがありましたら、お知らせください。  
また、「桜ヶ丘だより」への患者様、県民の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

### 鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈6号〉

2007(平成19)年7月発行

発行/鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>